

別紙 1－1 広域連合調査票

「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に係る実施状況調査」－広域連合票－

【調査項目】

本調査は、次の4項目について、一体的実施の実施状況及び課題についてお伺いするものです。

1. 取組体制等
2. 一体的実施の実施・委託に向けた取組の状況
3. 第3期データヘルス計画の運用について
4. ガイドラインの活用状況

【ご回答にあたって】

※回答は、一体的実施のご担当の方をお願いいたします。

※本調査は、特に注意書きがない場合は、令和6年11月現在の状況についてお答えください。

※エラーになるため、シートの名前の変更や列・行の挿入・削除等をご遠慮ください。

※ご回答いただいた結果は、統計的な処理を行ったうえで報告書にとりまとめ、厚労省HPIにて公表予定です。

※Webフォーム上の設問番号とは異なるためご注意ください。

＜回答欄について＞

単一回答のセル	:		...	プルダウンメニューより選択肢番号を選び、回答してください
複数回答のセル	:		...	当てはまるものすべてに「○」を入れてください
自由記載のセル	:		...	数字や文字列（文書）などを記載して回答してください

【回答期限】

2024年11月27日（水）

【提出方法】

Webフォームに回答を入力し、完了ボタンを押して提出してください。

※本Excelの提出は不要です。参考としてご自由にご使用ください。

【お問い合わせ先】

（株）三菱総合研究所 担当：馬杉、高見、森田、望月

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に係る実施状況調査 事務局

〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

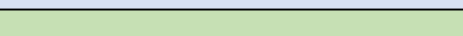
TEL：0120-958-972（平日10-17時 ※12-13時除く）

MAIL：ittaiteki-survey2024@ml.mri.co.jp

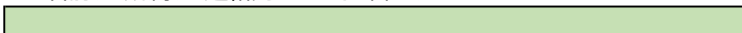
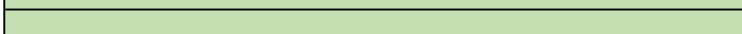
回答者情報をご入力のうえ、「調査票」シートにお進みください。

■回答者情報

- 広域連合についてお答えください。※プルダウンからお選びください

広域連合名	
構成市町村数	

- 回答いただく方のお名前、ご所属、ご連絡先についてお答えください。

回答部署名	
役職	
氏名	
電話番号	
E-mail	

[illegible]

⑧ 栄養士会											
⑨ リハビリ機能団体											
⑩ 歯科衛生士会											
⑪ 医療機関											
⑫ 外部有識者											
⑬ その他											

⑬ その他 (機関名称:)

■ 連携の内容において「その他の連携」に○をしている場合、各関係機関にかかる連携の内容をお答えください。
(連携先の関係機関と連携の内容: 自由記述)

Q5. 市町村における「一体的実施の取組」の推進にあたり、次の①～⑫の関係機関等との連携が十分に図られていると考えていますか。

i) 連携が十分に図られているか、また、

ii) i)で「1.十分に連携できている」「2.概ね連携できている」と回答した場合、連携にあたり工夫したことを具体的にお答えください。(自由記述)

iii) i)で「3.あまり連携できていない」「4.全く連携できていない」「5.連携する必要はない」と回答した場合、課題を具体的にお答えください。(自由記述)

(関係機関)	i) 連携が十分に図られているかどうか	ii) 連携にあたり工夫したこと/ iii) 連携の課題
①国保連合会		
②都道府県		
③保健所		
④医師会		
⑤歯科医師会		
⑥薬剤師会		
⑦看護協会		
⑧栄養士会		
⑨リハビリ機能団体		
⑩歯科衛生士会		
⑪医療機関		
⑫外部有識者		

【Q5で、「1.十分に連携できている」「2.概ね連携できている」と回答した広域連合にお伺いします】

Q5-1. 連携が十分に図られたことで、どのような効果がありましたか。(複数回答)

- | | |
|--|----------------|
| | 1 市町村支援の充実 |
| | 2 関係機関との協力体制強化 |
| | 3 役割分担の明確化 |

市町村への働きかけ・支援について、全ての広域連合にお伺いします

- Q10. 令和6年度時点で、①一体的実施に係る市町村への働きかけや支援として実施しているものについてお答えください。
「実施の有無」（実施の場合は「○」、実施なしの場合は「×」）は今年度の見込みを含めてお答えください。（複数回答）
①のうち、全ての構成市町村ではなく、②一体的実施を受託していない市町村に対して特に実施している支援がある場合は、該当するもの（該当する場合は「○」、該当しない場合は「×」）をお答えください。（複数回答）

	①実施の有無	②一体的実施を受託していない市町村に対して特に実施している支援
1 契約手続き		
2 計画書の作成		
3 市町村の基本方針の作成		
4 健康課題の分析（市町村間の比較など）		
5 関係団体への説明・調整		
6 一体的実施に関する研修会や意見交換会の開催		
7 市町村における保健事業の取組状況等の整理・把握・分析を行っている		
8 一体的実施の事業評価のために、評価方法・評価指標を提示している		
9 その他（ ）		
10 特に実施していない		

【Q10で、「6.一体的実施に関する研修会や意見交換会の開催」について実施「○」と回答した広域連合にお伺いします】

- Q10-1. i) 研修会の内容をお答えください。（複数回答）
ii) 各研修会の主催と共催をお答えください。なお、複数パターンがある場合、最も一般的なものをお答えください。
- 1 広域連合
 - 2 都道府県
 - 3 国保連合会
 - 4 医師会
 - 5 その他（）
 - 6 共催なし

	実施内容	主催	共催					
			①	②	③	④	⑤	⑥
1	一体的実施に関する国の動き・制度							
2	市町村における一体的実施の取組の進め方（特別調整交付金申請方法等も含む）							
3	データヘルス計画の内容							
4	都道府県における高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の方向性について							
5	都道府県内の市町村における高齢者の保健事業と介護予防の現状							
6	高齢者の保健事業の実施におけるKDBシステムの活用							
7	広域連合及び市町村による一体的実施の事例紹介							
8	一体的実施を行うための高齢者の特性に関する知識や支援方法							
9	広域連合その他関係機関が実施している一体的実施に関する支援							
10	事業評価の方法・考え方について							
11	その他（ ）							

【Q10で、「6.一体的実施に関する研修会や意見交換会の開催」について実施「○」と回答した広域連合にお伺いします】

- Q10-2. 研修会の開催頻度として最も近いものをお答えください。複数の研修会を開催している場合は、最も注力している研修会についてお答えください。

- 1 年に1回
- 2 半年に1回
- 3 3-4か月に1回

- 4 隔月1回
- 5 毎月1回

Q10-3. 研修会の実施方法をお答えください。

複数の研修会を開催している場合は、最も注力している研修会についてお答えください。

なお、併用している場合は複数をご選択ください。

例) オンラインで実施し、後日アーカイブ配信 → 「オンライン」「録画映像の配信」の両方を選択

- | | |
|--|-----------|
| | 1 対面 |
| | 2 オンライン |
| | 3 録画映像の配信 |
| | 4 その他 () |

ICT機器を活用した支援について、全ての広域連合にお伺いします

Q11. 保健事業実施にあたり、ICT機器を活用した支援をしていますか。

- | |
|--|
| |
|--|
- 1 支援をしている
 - 2 支援をしていない

【Q11で、「1.ある」と回答した広域連合にお伺いします】

Q11-1. ICT機器を活用した支援を行っている理由についてご回答ください。(複数回答)

- | | |
|--|---------------------|
| | 1 人材不足を補完するため |
| | 2 保健指導の内容の均てん化を図るため |
| | 3 保健指導の質の向上のため |
| | 4 感染症拡大予防のため |
| | 5 移動にかかるコスト削減のため |
| | 6 その他() |

Q11-2. どのようにICT機器の活用を行っていますか。(複数回答)

- | | |
|--|---|
| | 1 オンライン上での保健指導の実施 |
| | 2 オンライン上での研修会、説明会・事業相談、第三者支援評価の実施 |
| | 3 データ収載に向けたシステムへの入力促進の必要性の周知 |
| | 4 データの把握や分析の方法や手順の提示 |
| | 5 KDBデータ活用のための統一システム（アプリ等）の開発・提示・導入促進（特定健診等データ管理システムや国保中央会の二次活用ツール等を除く） |
| | 6 その他() |

【Q11で、「2.ない」と回答した広域連合にお伺いします】

Q11-3. ICT機器を活用していない理由についてご回答ください(複数回答)

- | | |
|--|-------------------|
| | 1 財源の確保が困難 |
| | 2 適切に機器を扱える人員がいない |
| | 3 導入方法がわからない |
| | 4 検討したことがない |
| | 5 その他() |

市町村への委託についてお伺いします

Q12. 現時点で全構成市町村へ委託済または全構成市町村で委託目途が立っていますか。

- | | |
|--|---------------------------|
| | 1 全構成市町村へ委託済または委託目途が立っている |
| | 2 一部構成市町村で委託目途が立っていない |

【Q12で、「1.全構成市町村へ委託済または委託目途が立っている」と回答した広域連合にお伺いします】

Q12-1 全構成市町村への委託を進めるにあたり、工夫したことや効果のあった支援内容及びその取組による変化をお答えください。(自由記述 ※任意回答)

--

Q13. 一体的実施の目標の設定状況をお答えください。（複数回答）

- ☐
☐
☐
☐
☐
☐
- 1 一体的実施の委託市町村数を設定している
2 事業（栄養、口腔、服薬等）毎に設定している
3 事業毎にアウトプットあるいはアウトカムの目標を設定している
4 短期／中長期の視点で設定している
5 費用対効果を基に設定している
6 目標は設定していない

Q14. 市町村に委託する保健事業について、優先順位を付ける際に考慮した点を教えてください。（複数回答）

- ☐
☐
☐
☐
☐
☐
☐
☐
- 1 健康課題の重大性
2 保健事業対象者の規模
3 保健事業の効果
4 実行可能性
5 費用対効果
6 構成市町村からの希望
7 その他()
8 特に優先順位はつけていない

Q15. i) 以下の事業について広域連合として実施している場合に○を、実施していない場合に×を付けてください。

ii) 事業者等への委託（市町村への委託を除く）をしている場合に○を、していない場合に×を付けてください。

	i) 広域連合として 実施	ii) 事業者への委託
1 事業評価のための研究分析等の事業	☐	☐
2 保健事業に係る市町村等との連絡・調整等の事業	☐	☐
3 一体的実施の推進のための事業（研修会開催や市町村支援等）	☐	☐
4 健康教育・健康相談等の事業	☐	☐
5 医療資源が限られた地域の保健事業	☐	☐
6 被保険者の健康増進のために必要と認められる事業	☐	☐
7 広域連合が実施する低栄養・重症化予防の取組	☐	☐
8 広域連合が行う重複投薬・多剤投与等への相談・指導の取組	☐	☐

一体的実施の取組について、全ての広域連合にお伺いします

Q16. 広域連合と構成市町村が一体的実施に取り組んだことで、これまでにどのような効果があったと感じますか。（複数回答）

- ☐
☐
☐
☐
☐
☐
☐
☐
☐
- 1 広域連合としての高齢者の保健事業に取り組む体制構築につながった
2 高齢者の保健事業を実施するうえでの市町村との連携ができるようになった
3 広域連合として、市町村の課題把握ができるようになった
4 国保保健事業と高齢者保健事業の接続ができる環境が整った
5 地域支援事業（介護保険）と高齢者保健事業を一体的に取り組める環境が整った
6 高齢者の健康状態や生活機能の課題をより把握できるようになった
7 高齢者の健康課題に適切に対応する保健事業の実施につながった
8 その他 ()
9 特になし

Q17. 一体的実施を委託した内容を含む全体について、広域連合として年度単位で事業評価していますか。

- ☐
☐
☐
☐
- 1 評価している ⇒Q17-1△
2 評価していない ⇒Q18△
3 評価を行う予定 ⇒Q17-1△
4 その他 () ⇒Q18△
5 分からない ⇒Q18△

【Q17で、「1.評価している」と回答した広域連合にお伺いします】

Q17-1 広域連合による事業評価で、昨年度実施したストラクチャー評価について、当てはまるものをお答えください。（複数回答）

- | | |
|--------------------------|--|
| ☐ | 1 事業の実施にあたり、関係者（都道府県・国保連）にデータヘルス計画を説明し、協議を実施した |
| ☐ | 2 地域の関係団体・関係機関との連携体制が構築できた（既にできていた） |
| ☐ | 3 市町村との連携が深まった（既に深まっていた） |
| ☐ | 4 データ分析、保健指導に必要な人材が確保できた（既にできていた） |
| ☐ | 5 地域を担当する医療専門職等に対し、研修・意見交換会も実施できた（内・外含め） |
| ☐ | 6 事業実施計画書、実施マニュアル、保健指導教材の準備ができた（既にできていた） |
| ☐ | 7 委託先（市町村）と事業の目的・方法などを協議し、適切な委託ができた |
| ☐ | 8 委託先（事業者）と事業の目的・方法などを協議し、適切な委託ができた |
| ☐ | 9 その他（ <input type="text"/> ） |

Q17-2 広域連合による事業評価で、昨年度実施したプロセス評価について、当てはまるものをお答えください。（複数回答）

- | | |
|--------------------------|---|
| ☐ | 1 全体のスケジュール管理を行った |
| ☐ | 2 KDB等活用して、健康課題の分析、対象者の抽出ができた |
| ☐ | 3 概ね計画どおり、事業の実施や市町村支援をすることができた |
| ☐ | 4 市町村の意見、取組状況などを評価できた |
| ☐ | 5 状況の変化に応じて、マニュアルやスケジュールの修正を行うなどの対応ができた |
| ☐ | 6 その他（ <input type="text"/> ） |

Q17-3 広域連合による事業評価で、昨年度実施したアウトプット評価について、当てはまるものをお答えください。（複数回答）

- | | |
|--------------------------|--|
| ☐ | 1 各市町村の通いの場の参加率を把握した |
| ☐ | 2 各市町村の健診受診率を把握した |
| ☐ | 3 各市町村の歯科健診の実施状況を把握した |
| ☐ | 4 各市町村における質問票を活用したハイリスク者把握に基づく保健事業の実施状況を把握した |
| ☐ | 5 一体的実施における各取組区分の実施市町村数・割合を把握した |
| ☐ | 6 各市町村での一体的実施の取組における各取組区分の実施状況を日常生活圏域のカバー率として把握した |
| ☐ | 7 ツールで把握した対象者の中で、実際に介入できた人数を把握した（ハイリスクアプローチ） |
| ☐ | 8 各市町村での通いの場等における、質問票の活用状況や支援の実施人数を把握した（ポピュレーションアプローチ） |
| ☐ | 9 その他（ <input type="text"/> ） |

Q17-4 広域連合による事業評価で、昨年度実施したアウトカム評価について、当てはまるものをお答えください。（複数回答）

- | | |
|--------------------------|---|
| ☐ | 1 各市町村の平均自立期間を確認した |
| ☐ | 2 各市町村の健診受診率を確認した |
| ☐ | 3 各市町村の歯科健診の実施状況を確認した |
| ☐ | 4 各市町村の個別事業の評価指標を確認した |
| ☐ | 5 各市町村の一人当たり医療費（入院）を確認した |
| ☐ | 6 各市町村の一人当たり医療費（外来）を確認した |
| ☐ | 7 レセプトで疾病別医療費を確認した |
| ☐ | 8 各市町村の透析導入患者率を確認した |
| ☐ | 9 各市町村の要介護認定率を確認した |
| ☐ | 10 各市町村の居宅一人当たり介護給付費を確認した |
| ☐ | 11 各市町村の一体的実施における各取組区分のハイリスク者人数、割合を確認した |
| ☐ | 12 その他（ <input type="text"/> ） |

【全ての広域連合にお伺いします】

Q18. i) 一体的実施に取り組むに当たって、広域連合として課題となっていることをお答えください。（複数回答）

- | | |
|--------------------------|--|
| ☐ | 1 一体的実施の制度や趣旨に関する知識が不足している |
| ☐ | 2 市町村から一体的実施に取り組む趣旨・目的等の理解が得られない |
| ☐ | 3 国からの広域連合や市町村に対する説明が不足している |
| ☐ | 4 地域の健康課題の分析に基づいた一体的実施の事業の方向性の整理が困難 |
| ☐ | 5 市町村における専門職等の人員体制の確保への支援が困難 |
| ☐ | 6 高齢者保健事業の企画・調整が困難 |
| ☐ | 7 市町村の実情に応じた委託内容の調整が困難 |
| ☐ | 8 特別調整交付金の交付基準・内容が不明確 |
| ☐ | 9 他の広域連合・市町村の取組状況に関する情報が不足している |
| ☐ | 10 一体的実施で実施するハイリスクアプローチの取組内容がイメージできない |
| ☐ | 11 一体的実施で実施するポピュレーションアプローチの取組内容がイメージできない |

- ☐ 12 広域連合の一体的実施に係る人員体制の確保
- ☐ 13 一体的実施の取組にかかる業務において、相談先（相談できる医療専門職）がない
- ☐ 14 その他（ ）
- ☐ 15 課題はない

Q18で、○と回答した選択肢についてお伺いします

Q19. ii) 一体的実施に取り組むに当たっての課題解決に向けて行っている取組について、具体的にお答えください。

	課題解決に向けて行っている取組
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	

Q20. 委託済市町村の支援にあたり、広域連合として課題となっていることをお答えください。（複数回答）

- ☐ 1 市町村の負担軽減の方法
- ☐ 2 広域連合としての質向上に向けた取組
- ☐ 3 取組状況や成果の見える化
- ☐ 4 専門職不足への対応
- ☐ 5 市町村毎に取組が異なる等による評価の困難さ
- ☐ 6 市町村への助言支援の充実
- ☐ 7 費用対効果を踏まえた事業評価の困難さ
- ☐ 8 その他（ ）

Q21. 広域連合として一体的実施を委託したことを年度単位で事業評価し、構成市町村に対しフィードバックをしていますか。

- ☐ 1 個別にフィードバックをしている
- ☐ 2 研修会・説明会等の機会にまとめてフィードバックしている。
- ☐ 3 その他（ ）

Q22. 広域連合として行う具体的な事業評価方法についてお答えください。（複数回答）

- ☐ 1 健診データの変化
- ☐ 2 受診状況の変化
- ☐ 3 市町村毎の医療・介護関連データの確認
- ☐ 4 ハイリスク者数・割合の変化
- ☐ 5 医療費の変化
- ☐ 6 生活習慣病等の患者数・割合の変化
- ☐ 7 取組状況と成果
- ☐ 8 介入者と非介入者の比較
- ☐ 9 実施市町と未実施市町の比較
- ☐ 10 その他（ ）
- ☐ 11 事業評価を行っていない

3. データヘルス計画の運用

【運用状況・策定時のプロセスについて、全ての広域連合にお伺いします】

Q23. 第3期データヘルス計画の策定について、下図の i ～ vii における事業者等への委託の範囲（予定含む）をお答えください。



- 1 全て委託する ⇒Q23-2へ
- 2 一部委託する ⇒Q23-1へ
- 3 委託はしていない ⇒Q24へ

【Q23で、「2.一部委託する」と回答した広域連合にお伺いします】

Q23-1. 事業者等へ委託している範囲を教えてください。（複数回答）

- ☐ i 現状の整理
- ☐ ii 健康課題の抽出
- ☐ iii 評価指標・目標の設定
- ☐ iv 事業評価、事業見直し・検討
- ☐ v 会議体の運営
- ☐ vi 計画案の作成（会議体に提示する資料作成を含む）
- ☐ vii 印刷（文字/デザインの校正含む）
- ☐ viii その他（ ）

【Q23で、「1.全て委託する」あるいは「2.一部委託する」と回答した広域連合にお伺いします】

Q23-2. 事業者等に委託した理由を教えてください。（複数回答）

- ☐ 1 専門的な知識・ノウハウ等の支援を受けるため
- ☐ 2 広域連合の人材不足を補うため
- ☐ 3 委託できない業務に集中して取り組むため
- ☐ 4 その他（ ）

【全ての広域連合にお伺いします】

Q24. データヘルス計画として公表しているものをお答えください。（複数回答）

- ☐ 1 計画様式
- ☐ 2 本編（計画様式以外の様式）
- ☐ 3 概要（計画様式以外の様式）
- ☐ 4 その他（ ）

Q25. データヘルス計画策定において、計画様式をどのように利用しましたか。

- 1 当初から利用（計画様式のみ作成した場合）
- 2 計画検討のための整理資料として当初から利用
（計画様式以外の様式を作成した場合や、概要資料として計画様式を公開した場合も含む）
- 3 計画様式以外の様式で先に作成し、記載事項の網羅性等の確認用として利用
- 4 国に提出するためのみに利用

Q26. 計画策定時、目標値の設定にあたって何を根拠に設定しましたか。（複数回答）

- ☐ 1 国などの目標値を参考に設定した
- ☐ 2 他の広域連合の目標値を参考に設定した
- ☐ 3 既存の事業実績の推移を基に設定した
- ☐ 4 最終的な目標値から逆算して設定した
- ☐ 5 その他（ ）

Q27. 計画の中間・最終評価では、どのような視点で評価を実施する予定ですか。（複数回答）

- ☐ 1 ストラクチャー/プロセス/アウトプット/アウトカムの4つの視点
- ☐ 2 達成/未達成の要因
- ☐ 3 改善すべき事項
- ☐ 4 今後の取組の方向性
- ☐ 5 その他（ ）

Q28. 計画の評価をするうえでの課題をお答えください。（複数回答）

- ☐ 1 計画で設定した指標・目標が評価しづらい
- ☐ 2 評価方法が分からない
- ☐ 3 評価結果の妥当性を担保する仕組み（有識者等への相談先を含む）がない
- ☐ 4 評価後の計画および保健事業の見直し方が分からない
- ☐ 5 その他（ ）

☐ 6 特にな

Q29. 計画に記載している保健事業について、優先順位を付ける際に考慮した点を教えてください。(複数回答)

- ☐ 1 保健事業対象者の規模
☐ 2 健康課題の重大性
☐ 3 保健事業の効果
☐ 4 費用対効果
☐ 5 その他 ()
☐ 6 特に優先順位はつけていない(すべてを優先としている)

Q30. i) 保健事業の優先順位をつけるうえでの課題はありましたか。

- 1 ある
2 ない

【Q30で、「1.ある」と回答した広域連合にお伺いします】

Q30-1. ii) 課題があった場合、具体的にどのような課題がありましたか。(自由記述)

【全ての広域連合にお伺いします】

Q31. データヘルス計画の策定にあたり、前期計画から特に強化した保健事業があれば教えてください。(自由記述 ※任意回答)

例: 歯科健康診査事業、二次骨折予防事業 等

Q32. i) データヘルス計画の策定にあたり、地域資源の把握・質的情報の分析を行いましたか。

※地域資源: 住民組織、民間企業、専門職団体等

※質的情報: 日頃の保健活動における住民の声、地域の状況について課題と感じていることや思いについて、
数値では把握できないもの

- 1 実施した
2 実施していない

【Q32で、「1.実施した」と回答した広域連合にお伺いします】

Q32-1. ii) 実施した場合、分析・把握した内容を具体的に教えてください。(自由記述)

【Q32で、「2.実施していない」と回答した広域連合にお伺いします】

Q32-2. iii) 実施しなかった理由を具体的に教えてください。(自由記述)

【全ての広域連合にお伺いします】

Q33. データヘルス計画策定にあたって整合性を図った”他の法定計画等”を教えてください。また、整合性を図ることで、
データヘルス計画の記載事項で見直し(追加も含む)を行ったことがあれば、具体的に教えてください。

(複数回答、具体的事項は自由記述 ※任意回答)

1 医療費適正化計画 ↓具体的に

2 医療計画 ↓具体的に

--	--

3 介護保険事業（支援）計画 ↓具体的に

--	--

4 健康増進計画 ↓具体的に

--	--

5 その他の計画 ↓具体的に

--	--

Q34. 第3期データヘルス計画を策定するにあたっては、他の保健医療関係の計画との整合性を考慮することとされていますが、具体的にどのような取組をしていましたか。（複数回答）

	1 都道府県の関係者と定期的な情報共有及び意見交換の機会を設定 （医療計画・医療費適正化計画・健康増進計画・介護保険事業支援計画）
	2 市町村の関係者と定期的な情報共有及び意見交換の機会を設定（健康増進計画・介護保険事業計画）
	3 他の保険者と定期的な情報共有及び意見交換の機会を設定（データヘルス計画）
	4 データヘルス計画策定方針や概要が整理できた時点、有識者からのご意見を得て修正をした時点等必要なタイミングで広域連合から都道府県関係者及び構成市町村関係者に情報提供（医療計画・医療費適正化計画・健康増進計画・介護保険事業（支援）計画）
	5 有識者から情報や助言を得る
	6 その他()

Q35. 第3期データヘルス計画を策定する際、他の保健医療関係の計画との整合性を考慮するにあたっての課題はありますか。（複数回答）

	1 同時並行に策定作業が進められていたため、共有がしにくかった
	2 関係者や関係部局が多様なため、対象者の限定が困難だった
	3 関係者や関係部局が多様なため、方針の調整が煩雑だった
	4 整合を図る観点での確認点がわからなかった
	5 情報共有や意見交換の時間が確保できなかった
	6 その他()
	7 課題は特になかった

Q36. 第3期データヘルス計画の策定段階において、構成市町村の保健事業を標準化するにあたり、広域連合としてどのような取組を行っていましたか。（複数回答）

	1 広域連合として取り組む共通の評価指標及び目標値の提示
	2 広域連合として特に優先して取り組むべきと整理した事業内容の提示
	3 個別事業の評価指標例の提示
	4 ハイリスク者割合等の現状値の提示
	5 市町村への説明会の開催（標準化の意図等）
	6 市町村個別での説明の機会の設定（標準化の意図等）
	7 その他()

Q37. 第3期データヘルス計画の策定にあたり、広域連合の方針等の理解を促すため、市町村に対してどのような取組を実施しましたか。（複数回答）

	1 市町村との直接対話
	2 課題分析、実施方法等に関する助言や指導
	3 広域連合が開催するセミナー・研修会の機会の周知・出席依頼
	4 研修等への広域連合職員等の派遣
	5 広域連合による市町村の健康課題の分析
	6 広域連合を通じた他市町村との連携の調整
	7 広域連合を通じた医療関係団体との連携の調整
	8 広域連合からの有識者等の派遣等
	9 その他()

【第3期データヘルス計画の標準化・他計画との調整について、全ての広域連合にお伺いします】

Q38. 第3期データヘルス計画により、広域連合内で標準化を進めていくにあたってどのような課題があると考えていますか。

(複数回答)

- | | |
|--------------------------|--|
| ☐ | 1 構成市町村が独自の抽出基準や評価基準を使用しているため、標準化を求める説明が困難 |
| ☐ | 2 構成市町村が使用している独自の抽出基準や評価基準について、使用の妥当性に関して判断が困難 |
| ☐ | 3 構成市町村が標準化の必要性に関して理解が不足している |
| ☐ | 4 広域連合が標準化することのメリットについて理解が不足しているため説明が困難 |
| ☐ | 5 構成市町村が助言を求めている有識者が標準化の必要性に関して理解が不足している |
| ☐ | 6 その他() |
| ☐ | 7 課題は特にない |

Q39. 標準化を進めるにあたっての課題について、国や国保連合会、都道府県、有識者等により必要な支援がある場合は、誰にどのような支援をしてもらいたいのか具体的にご記載ください。(自由記述 ※任意回答)

--

Q40. 第3期データヘルス計画の標準化を進めることにより、広域連合ではどのような効果を期待していますか。

(複数回答)

- | | |
|--------------------------|-----------------------------------|
| ☐ | 1 構成市町村内での効率化や負担軽減が図られる |
| ☐ | 2 市町村間の比較が容易になる |
| ☐ | 3 各市町村における健康課題が明確になる |
| ☐ | 4 効果的な保健事業をパターン化できる |
| ☐ | 5 成果を高めるための方法・体制の検討に役立てられる |
| ☐ | 6 実施率を高めるための方法・体制の検討に役立てられる |
| ☐ | 7 広域連合で効果的に引継ぎできる、関係団体への説明がしやすくなる |
| ☐ | 8 その他() |

Q41. データヘルス計画の策定【特に標準化】によって見込まれる変化について、お答えください。(複数回答)

- | | |
|--------------------------|---------------------------------------|
| ☐ | 1 データに基づき、事業対象者を設定できるようになる |
| ☐ | 2 データに基づき、事業内容を設定できるようになる |
| ☐ | 3 データに基づき、事業の優先順位付けを検討できるようになる |
| ☐ | 4 データに基づいた事業評価ができるようになる |
| ☐ | 5 市町村の好事例の把握が容易になる |
| ☐ | 6 第三者の視点を盛り込んだ計画策定ができるようになる |
| ☐ | 7 構成市町村とのより緊密な関係を構築できるようになる |
| ☐ | 8 国保連合会とのより緊密な関係を構築できるようになる |
| ☐ | 9 事業に関する進捗管理を明確化できるようになる |
| ☐ | 10 PDCAサイクルを意識した事業を実施できるようになる |
| ☐ | 11 医療費適正化の意識を事業担当者（委託先を含む）で共有できるようになる |
| ☐ | 12 健康づくりが目的であることを明確化できるようになる |
| ☐ | 13 その他() |
| ☐ | 14 特にない |
| ☐ | 15 分からない |

Q42. データヘルス計画を策定する際に、受けた支援内容を教えてください。(複数回答)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| ☐ | 1 データ分析方法の助言・相談 |
| ☐ | 2 質的情報の分析方法の助言・相談 |
| ☐ | 3 把握したデータの解釈についての説明・補足 |
| ☐ | 4 分析に必要なデータの提供 |
| ☐ | 5 アウトプット指標及び目標値の設定の助言・相談 |
| ☐ | 6 アウトカム指標及び目標値の設定の助言・相談 |
| ☐ | 7 事業の優先順位付けの方法の助言・相談 |
| ☐ | 8 評価方法の助言・相談 |

- | | |
|--|---------------------------|
| | 9 保健事業の委託先である構成市町村との連携の促進 |
| | 10 医師会・医療機関等との連携の促進 |
| | 11 その他() |
| | 12 特になし |

Q43. 今後の中間見直しや次期データヘルス計画を策定するうえで、支援を受けたい内容を教えてください。（複数回答）

- | | |
|--|---------------------------|
| | 1 データ分析方法の助言・相談 |
| | 2 質的情報の分析方法の助言・相談 |
| | 3 把握したデータの解釈についての説明・補足 |
| | 4 分析に必要なデータの提供 |
| | 5 アウトプット指標及び目標値の設定の助言・相談 |
| | 6 アウトカム指標及び目標値の設定の助言・相談 |
| | 7 事業の優先順位付けの方法の助言・相談 |
| | 8 評価方法の助言・相談 |
| | 9 保健事業の委託先である構成市町村との連携の促進 |
| | 10 医師会・医療機関等との連携の促進 |
| | 11 その他() |
| | 12 特になし |

Q44. データヘルス計画の策定のために、広域連合の担当職員にはどのようなスキルが必要だと考えますか。（複数回答）

- | | |
|--|--------------|
| | 1 データ分析 |
| | 2 健康課題の抽出 |
| | 3 保健事業の企画 |
| | 4 指標・目標の設定 |
| | 5 保健事業や計画の評価 |
| | 6 疾病等の専門知識 |
| | 7 関連制度の理解 |
| | 8 その他() |
| | 9 特になし |
| | 10 分からない |

Q45. 計画様式の提示や共通評価指標の設定条件や各種ツール等により、負荷が軽減されたスキルを教えてください。

- | | |
|--|--------------|
| | 1 データ分析 |
| | 2 健康課題の抽出 |
| | 3 保健事業の企画 |
| | 4 指標・目標の設定 |
| | 5 保健事業や計画の評価 |
| | 6 疾病等の専門知識 |
| | 7 関連制度の理解 |
| | 8 その他() |
| | 9 特になし |
| | 10 分からない |

Q46. 『高齢者保健事業の実施計画（データヘルス計画）策定の手引き』（令和5年3月30日改正）のなかで、「2. 計画に記載すべき事項」や計画様式において見直し（例示の追加も含む）を図ってほしい事項があるか教えてください。
見直しを図ってほしい事項がある場合には、見直しを図ってほしい事項とその具体的な内容を記載してください。

（具体的事項は自由記述 ※任意回答）

※適宜、以下事務連絡での周知内容についてもご参照の上、ご回答ください。

・第3期データヘルス計画策定における国保データベース（KDB）システム及び一体的実施・KDB活用支援ツールの活用における留意点等について（令和5年12月4日付）

・第3期データヘルス計画の進捗状況管理における国保データベース（KDB）システム及び一体的実施・KDB活用支援ツールの活用について（令和6年4月5日付）

・高齢者の保健事業の効率的・効果的な実施のための一体的実施・KDB活用支援ツール及び一体的実施・実践支援ツールの活用について（令和6年4月26日付）

1 基本的事項 ↓具体的に

--	--

2 現状の整理	↓具体的に	
3 健康・医療情報等の分析・分析結果に基づく健康課題の抽出	↓具体的に	
4 目標	↓具体的に	
5 保健事業の内容	↓具体的に	
6 計画の評価・見直し	↓具体的に	
7 計画の公表・周知	↓具体的に	
8 個人情報の取扱い	↓具体的に	
9 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項	↓具体的に	
10 計画様式 様式Ⅰ	↓具体的に	
11 計画様式 様式Ⅱ	↓具体的に	
12 計画様式 様式Ⅲ	↓具体的に	
13 計画様式 様式Ⅳ	↓具体的に	
14 計画様式 様式Ⅴ	↓具体的に	
15 その他()	↓具体的に	

Q47. 第3期データヘルス計画の運用に向けて、策定したデータヘルス計画の内容及び広域連合の方針について、構成市町村や関係者等に周知するために実施した事項をお答えください。（複数回答）

- | | |
|--------------------------|--------------------------------|
| ☐ | 1 ホームページや広報誌等における周知 |
| ☐ | 2 計画の要旨等をまとめた概要版を作成する等の工夫 |
| ☐ | 3 市町村や関係者、関係団体等に計画やその概要等の送付 |
| ☐ | 4 市町村担当者に対し、説明会・研修会の開催または個別の説明 |

	5 他の計画策定者等の関係部局に対し、課題や優先して取り組む課題、対応策、目標について説明及び目標達成のための協力依頼
	6 関係団体に対する説明、関係団体を經由した医療機関等への周知依頼
	7 その他()
	8 特に実施していない

【後期高齢者の健康診査について、全ての広域連合にお伺いします】

Q48. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用する取組（いわゆるみなし健診）を広域連合として統一して実施していますか。

- 1 構成されている全ての市町村で実施
- 2 構成されている一部の市町村で実施
- 3 実施していない

【Q48で、「1.構成されている全ての市町村で実施」「2.構成されている一部の市町村で実施」と回答した広域連合にお伺いします】

Q48-1. 広域連合として、統一して診療情報を健康診査の結果として活用する（いわゆるみなし健診）を実施するためにどのような取組を行っていますか。（複数回答）

	1 診療情報を健康診査の結果として活用する場合の手順を、構成市町村、医療機関や関係者に提示
	2 医療機関の負担に配慮した医療機関への依頼業務の調整
	3 医療機関等への説明会の実施
	4 医療従事者の理解促進のための説明資料の作成
	5 医療関係団体に対し、みなし健診の協力の依頼や調整
	6 被保険者の理解促進のための説明資料の作成
	7 広報被保険者に対し、診療情報を健康診査の結果として活用する取組（いわゆるみなし健診）の概要について周知・広報
	8 その他()

【全ての広域連合にお伺いします】

Q49. 健康診査（診療情報を健康診査の結果として活用する場合（いわゆるみなし健診）を含む）において、後期高齢者の質問票をどのように取り扱っていますか。

- 1 全市町村で使用
- 2 一部の市町村で使用（みなし健診の実施の有無により異なる）
- 3 一部の市町村で使用（みなし健診の実施の有無によらない）
- 4 市町村に健診を委託しているため把握していない
- 5 全市町村で使用していない

【Q49で、「1.全市町村で使用」「2」「3」（一部の市町村で使用）と回答した広域連合にお伺いします】

Q49-1. 質問票を活用している場合、質問票の結果について被保険者本人に対して面談や文書等によるフィードバックをしていますか。

- 1 全受診者に実施
- 2 一部の受診者に対し実施（みなし健診の実施の有無により異なる場合）
- 3 一部の受診者に対し実施（みなし健診の実施の有無によらず、希望者のみとするなど市町村により異なる場合）
- 4 市町村に健診を委託しているため把握していない
- 5 全受診者に対し、実施していない

Q49-2. 後期高齢者の質問票を使用している場合、特定健診等データ管理システムに入力を行っていますか。それぞれの場面についてお答えください。

	質問票を使用 する市町村の 全てで入力	質問票を使用 する市町村の 一部で入力	質問票を使用 する市町村の 全てで入力して いない	把握していない
1 健診				
2 かかりつけ医（医療）				
3 通いの場				
4 その他				

4) ()

【Q49-2で、「質問票を使用する市町村の全てで入力」もしくは「質問票を使用する市町村の一部で入力」と回答した広域連合にお伺いします】

Q49-3. 別のシステム等への入力を行っていますか。（複数回答）

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| ☐ | 1 市町村独自のシステムへの入力 |
| ☐ | 2 広域連合独自のシステムへの入力 |
| ☐ | 3 エクセル等への入力・管理 |
| ☐ | 4 その他(<input type="text"/>) |

【Q48で、「3.実施していない」と回答した広域連合にお伺いします】

Q48-2. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用する取組（いわゆるみなし健診）を実施していない理由を
お答えください。（複数回答）

- | | |
|--------------------------|---|
| ☐ | 1 関係団体・医療機関との調整が困難 |
| ☐ | 2 経費の調整が困難 |
| ☐ | 3 実施の方法・手順が不明 |
| ☐ | 4 本人の同意が得られないと考えたため |
| ☐ | 5 健診項目の内容が不足しており補うことができないため |
| ☐ | 6 不要と判断したため→（その理由： <input type="text"/> ） |
| ☐ | 7 その他(<input type="text"/>) |

Q48-3. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用する取組（いわゆるみなし健診）について、今後の意向に
ついてお答えください。

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| ☐ | 1 実施に向けて準備中 |
| ☐ | 2 実施の必要性や実現可能性等を検討中 |
| ☐ | 3 実施の予定はない |

【全ての広域連合にお伺いします】

Q50. 後期高齢者医療制度事業費補助金の交付対象（特定健康診査及び特定保健指導の対象除外者に準ずる）と
同一の対象者ですか。

- | | |
|--------------------------|---|
| ☐ | 1 同一である |
| ☐ | 2 同一でない→（具体的に： <input type="text"/> ）
（※対象除外者または対象者が具体的にわかるように記載ください。） |

Q51. 健診受診者に対し、結果の通知をすることとしていますか。

- | | |
|--------------------------|---------------------------------------|
| ☐ | 1 全受診者に健診項目の全項目について通知している |
| ☐ | 2 全受診者に健診項目の一部の項目について通知している |
| ☐ | 3 一部の受診者に健診項目の全項目について通知している |
| ☐ | 4 一部の受診者に健診項目の一部の項目について通知している |
| ☐ | 5 通知していない |
| ☐ | 6 市町村に健診事業を委託しており、広域連合による健診事業は実施していない |

【Q51で、「2」または「4」（一部の項目について通知をしている）と回答した広域連合にお伺いします】

Q51-1. 一部項目について通知をしている場合、通知している項目について回答してください。（複数回答）

- | | |
|--------------------------|--|
| ☐ | 1 既往歴 |
| ☐ | 2 自覚症状及び他覚症状の有無 |
| ☐ | 3 身長、体重 |
| ☐ | 4 BMI |
| ☐ | 5 血圧 |
| ☐ | 6 AST、ALT、γ-GT（肝機能検査） |
| ☐ | 7 血清トリグリセライド（中性脂肪）、HDLコレステロール、LDLコレステロール（血中脂質検査） |
| ☐ | 8 血糖検査 |
| ☐ | 9 尿中の糖及び蛋白の有無（尿検査） |
| ☐ | 10 その他、医師が必要と認めるときに行うもの |

【全ての広域連合にお伺いします】

Q52. 健診受診対象者に対して、広域連合が統一して受診券の送付をしていますか。（事業者による委託の場合を含む）

- ☐
- 1 健診受診対象者全員に個別に送付している
 - 2 広報誌等で健診について周知の上、希望者に対し送付している
 - 3 個別の受診券の送付はしていない
 - 4 市町村が直接健診事業を実施しており、広域連合による健診事業は実施していない
 - 5 その他（ ）

Q53. 健診受診率向上のために、広域連合としてどのような取組をしていますか。（複数回答）

- ☐ 1 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用する取組（いわゆるみなし健診）の実施
- ☐ 2 健診受診対象者全員に受診券を送付
- ☐ 3 かかりつけ医等からの健診受診の重要性の説明など健診受診勧奨の依頼
- ☐ 4 SNS等を活用した周知
- ☐ 5 インターネット等による24時間予約可能なシステムの活用
- ☐ 6 土日・祝日や夕方以降等の健診受診時間の拡大
- ☐ 7 通いの場等を活用した健診の重要性の説明
- ☐ 8 75歳到達者に対する健診の重要性の説明の機会の設定
- ☐ 9 自己負担なし
- ☐ 10 健診受診者に対するインセンティブ付与（健康ポイント等）
- ☐ 11 市町村に委託等しているため、広域連合としては実施していない
- ☐ 12 その他（ ）

4. ガイドラインの活用状況

【高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版について、全ての広域連合にお伺いします】

Q54. 高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版について、活用状況と活用していない場合の理由をお答えください。

※「活用していない」を選択した場合の理由は任意回答です

出典 <https://www.mhlw.go.jp/content/001239590.pdf>

- ☐
- 1 活用している
 - 2 活用していない

■活用していない理由（自由記述 ※任意回答）

Q55. 厚生労働省のホームページに掲載されているガイドライン（第3版）の解説動画を視聴しましたか。

- ☐
- 1 視聴した
 - 2 視聴していない

【Q55で、「1.視聴した」と回答した広域連合にお伺いします】

Q55-1. ガイドライン（第3版）について、広域連合内または構成市町村や関係者に対して研修会を開催しましたか。

- ☐
- 1 開催した
 - 2 開催していない
 - 3 開催していないが、動画が掲載されていることを案内して視聴を促した

【全ての広域連合にお伺いします】

Q56. 高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版の内容について、より詳しい解説が必要と考える項目がある場合、該当項目についてお答えください。

- ☐ 1 高齢者の保健事業の実施に当たっての基本的な考え方
- ☐ 2 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について
- ☐ 3 取組の推進に向けた体制整備
- ☐ 4 効果的な実施に向けた取組内容の検討
- ☐ 5 取組を推進するための環境整備
- ☐ 6 関連事項

- | | |
|--|----------------|
| | 7 その他() |
| | 8 確認したい事項は特にない |

以下の設問は、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進及び効果検証に係る検証のための研究班」※と合同の設問項目です

※厚生労働行政推進調査事業補助金（政策科学推進研究事業）（令和5～7年度）

ご回答結果は研究班との共同利用となりますが、広域連合の名称等が特定できる形での公表はございません。

研究班の詳細 https://ktsushita.com/index.php/kenkyuhan-koureisya05/#kenkyuhoukokusyo_koreisya

【国保中央会・研究班等の作成資料について、全ての広域連合にお伺いします】

出典 <https://www.mhlw.go.jp/content/000917658.pdf>

Q57. 「一体的実施・KDB活用支援ツール」を活用していますか。

- 1 ツールを用いてデータを抽出し、活用している
- 2 使うことを検討中である
- 3 使う予定はない ⇒Q58へ
- 4 未定 ⇒Q58へ

【Q57「1.ツールを用いてデータを抽出し、活用している」「2.使うことを検討中である」と回答した広域連合にお伺いします】

Q57-1. どのような場面で使っていますか（予定を含む）。（複数回答）

- 1 事業計画の立案（各事業対象者の概数把握）
- 2 対象者の抽出
- 3 保健事業の優先順位の検討
- 4 事業評価
- 5 その他 ()

【全ての広域連合にお伺いします】

Q58. 国保中央会作成の一体的実施・KDB活用支援ツール操作マニュアル1.1版を確認しましたか。

- 1 確認した
- 2 確認していない
- 3 マニュアルがあることを知らなかった

Q59. 構成市町村に対し、一体的実施・KDB活用支援ツール活用に関する支援を行っていますか。

- 1 支援を行っている
- 2 支援を行っていない

【Q59で、「1.支援を行っている」と回答した広域連合にお伺いします】

Q59-1. どのような支援を行っていますか。（複数回答）

- 1 説明会・研修会の実施
- 2 個別指導（訪問）の実施
- 3 個別指導（WEB）の実施
- 4 対象者リスト提供の実施
- 5 相談・質問対応の実施
- 6 その他 ()

【Q59で、「2.支援を行っていない」と回答した広域連合にお伺いします】

Q59-2. 支援を行っていない理由をお答えください。（自由記述 ※任意回答）

Q59-3. 貴広域連合がツールを使用されるにあたり、困っていることがあればご記入ください。（自由記述 ※任意回答）

【Ⅱ. 研究班が作成した資料について、全ての広域連合にお伺いします】

Q60. 「一体的実施・実践支援ツール」を活用していますか

※「活用していない」を選択した場合の理由は任意回答です

- 1 活用している
- 2 活用する予定がある
- 3 活用していない

■現在活用していない理由（自由記述 ※任意回答）

Q61. 「一体的実施・実践支援ツールの保健事業への活用 実践・評価編」を活用していますか。

※「活用していない」を選択した場合の理由は任意回答です

出典 <https://www.mhlw.go.jp/content/001078813.pdf>

- 1 活用している
- 2 活用する予定がある
- 3 活用していない

■現在活用していない理由（自由記述 ※任意回答）

【Q60で、「1.活用している」「2.活用する予定がある」と回答した広域連合にお伺いします】

Q60-1. どのような場面で使っていますか（予定を含む）。（複数回答）

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| ☐ | 1 事業計画の立案 |
| ☐ | 2 対象者の抽出・絞り込み |
| ☐ | 3 保健事業の優先順位の検討 |
| ☐ | 4 実施内容・結果の記録 |
| ☐ | 5 実施内容・結果を活用した事業評価 |
| ☐ | 6 その他（ <input type="text"/> ） |

【全ての広域連合にお伺いします】

Q62. 「高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版を踏まえた一体的実施・実践支援ツールの保健事業への活用」を活用していますか。

※「活用していない」を選択した場合の理由は任意回答です

出典 <https://www.mhlw.go.jp/content/001250007.pdf>

- 1 活用している
- 2 活用する予定がある
- 3 活用していない

■現在活用していない理由（自由記述 ※任意回答）

【Q62で、「1.活用している」「2.活用する予定がある」と回答した広域連合にお伺いします】

Q62-1. どのような場面で使っていますか（予定を含む）。（自由記述 ※任意回答）

Q63. 一体的実施の保健事業計画や一体的実施・KDB活用支援ツールのツール活用の上で、本解説書（抽出条件の考え方と保健事業への活用ver.1）は役に立っていますか。

出典 <https://www.mhlw.go.jp/content/000917658.pdf>

- 1 役立つ
- 2 まあまあ役立つ
- 3 あまり役立たない
- 4 全く役立たない
- 5 見ていないので分からない
- 6 ツールを活用していないため読んでいない

【Q63で「1.役立つ」、「2.まあまあ役立つ」、「3.あまり役立たない」、「4.全く役立たない」と回答した広域連合にお伺いします】

Q63-1. 解説書について、お気づきの点があればお知らせください。（自由記述）

■解説書について、お気づきの点（自由記述 ※任意回答）

【全ての広域連合にお伺いします】

Q64. 厚生労働省・国保中央会共催の「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進に向けた研修会」における動画を活用して、広域連合内または構成市町村や関係者に対して研修会を開催しましたか。

- 1 開催した
- 2 開催していない
- 3 開催していないが、動画が掲載されていることを案内して視聴を促した

■現在活用していない理由（自由記述 ※任意回答）

【Ⅲ. 集約レポートについて、全ての広域連合にお伺いします】

Q65. 実施計画書の集約レポートを活用していますか。

- 1 活用している
- 2 活用する予定がある
- 3 活用していない

■現在活用していない理由（自由記述 ※任意回答）

【Q65で、「1.活用している」「2.活用する予定がある」と回答した広域連合にお伺いします】

Q65-1. どのような場面で使っていますか（予定を含む）。（自由記述）

- | | |
|--|----------------------|
| | 1 市町村への説明（説明会、研修会） |
| | 2 事業実施状況の評価・分析のため |
| | 3 関係機関・関係団体への説明 |
| | 4 好事例の把握 |
| | 5 その他（ <div></div> ） |

Q66. 集約ツールを利用した上で、お気づきの点があればお知らせください。（自由記述 ※任意回答）

以上で調査は終了です。ご協力いただき、ありがとうございました。
フェイスシートで、エラー等がないかご確認のうえ、ご提出ください